


特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 29 年度 前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	下田 真唯子	会員番号	0033170	
申請者の所属・職名	大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学研究室・大学院生			
出席会議名	2 nd International Conference on the Long and the Short of Non-Coding RNAs			
発表論文タイトル	Role of selective regulation of non-coding RNA by mammalian mRNA export complex TREX-2			

実施結果：

この度は、平成 29 年度前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に選出していただき、誠にありがとうございます。岸本先生をはじめ、選考委員の先生方、推薦して下さった審良静男先生に厚く御礼申し上げます。

2017 年 6 月 9 日から 13 日にギリシャのイラクリオンで開催された 2nd International Conference on the Long and the Short of Non-Coding RNAs に参加させていただきました。マイクロ RNA の研究で著明な David Bartel 先生を始めとする世界最先端の RNA 研究者、若手研究者など 200 名以上が参加されており、熱くディスカッションが行われている活気のある学会でした。環状 RNA に関する最先端研究を次々と報告している Nikolaus Rajewsky 先生や Howard Chang 先生と実際に話す機会も得られ、とても刺激になりました。また、2015 年にガードナー国際賞を受賞された Lynne Maquat 先生と夕食時に同席することができ、私の研究に対するアドバイスをいただきました。

本学会では免疫学の研究者は比較的少なく、Non-coding RNA (ncRNA)の生合成や制御、mRNA 代謝、がんにおける ncRNA、さらには実際に臨床試験が実施されている治療への応用など、幅広い分野の最新研究に触れることができる非常に良い機会となりました。今回のカンファレンスでは、B 細胞の多様性獲得に必須の活性化型脱アミノ化酵素 AID を制御する RNA 輸送複合体構成因子 GANP に着目した研究で、主に GANP の制御を受ける ncRNA 群と B 細胞の運命決定に関する研究成果について報告をしました。異分野の研究者とのディスカッションを通して、自分の英語でのコミュニケーション能力の乏しさを痛感しましたが、違う角度からの意見や多くの最新知見を学び、大変有意義な経験となりました。

エーゲ海が眺望できる美しい環境の中、世界中で活躍する研究者の方々と知り合い、活発に議論する機会が得られたことは私の人生においてとても大きな財産となりました。この貴重な経験を糧に、今後も研究により一層邁進していきたいと思えます。